

平成23年度 契約監視委員会（第1回）議事要旨

1. 日 時 平成23年12月6日(火) 10:00~12:00

2. 場 所 大学評価・学位授与機構 竹橋オフィス 1105会議室

3. 出席者

(委員) 和田委員長、館委員

(事務局) 福治管理部長、高瀬会計課長、奈良会計課課長補佐、内間契約係長
塩原資産管理係長、永田監査室長、坂田監査係長、小山監査係員
中村監査係員

4. 議 事

(1) 契約監視委員会委員長選出について

委員の互選により、委員長に和田委員が選出された。

(2) 平成22年度点検結果に伴う改善状況

資料3に基づき前回の指摘に対する改善状況を報告した。

(3) 平成23年度9月分までの契約について

① 競争性のない随意契約の点検・見直しについて

② 一者応札の点検・見直しについて

※質疑の概要については、【別紙】参照。

(4) その他

次回の開催予定として、3月に第2回を実施すること及び10月以降の契約の点検を実施することが確認された。

質疑概要

(3) 平成23年度9月分までの契約について

- ① 競争性のない随意契約の点検・見直しについて
- 人事給与統合システム保守
 - 財務会計システム

質問・意見	回答
・仕様書の見直しにより別の業者が入りこむ余地はないのか。	・システム開発をした業者のみが保守を担当可能な状況なので、他の業者が入り込む余地はないと考える。
・価格競争などで、経費低減可能であるのか。	・システムはパッケージ料金で価格設定されており、基本的な値引きはない。また、同システムを導入している他機関においても同様の契約であるため、当機構のみ値引きすることできない。
・システムの導入と保守を全体として契約を考え、現在のシステムの継続使用が効率的であることを、しっかりと説明できるようにしてほしい。	
② 一者応札の点検・見直しについて	
<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 基幹システム運用保守サポート業務 <input type="radio"/> 基幹システムハードウェア保守業務 <input type="radio"/> 大学情報データベースシステム システム保守 	
質疑に当たり、事務局より資料5に基づき、一者応札の改善方法について説明があった。	

質問・意見	回答
・各契約の予定価格の設定方法を教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹システム運用保守サポート業務については、人件費中心であり、時間と単価をかけて算出している。 ・基幹システムハードウェア保守業務については、システム内の機器ごとの更新期間が定められており、更新期間が切れたものを毎年度積上げて算出している。 ・大学情報データベースシステム保守については、今年度は仕様の見直しを行い、自前で対応できる部分を除き、構成部分を積み上げて算出した。
・一者応札については、特に予定価格が適切に算出されているかが重要となる。予定価格の算定から契約まで一連の流れを説明できるようにしてほしい。	

② 一者応札の点検・見直しについて

○ 本館設備業務

質問・意見	回答
・今年度入札者が1者のみになった要因はどのようなことと推測されるか。	・当初三者から見積もりを取り予定価格の算出を行っており、少なくとも三者の参加は確保できると考えていた。結果として一者になってしまった。 なお、辞退者に対するアンケート結果では、震災の影響と思われるが、人員の確保が困難であったという意見が数件見受けられた。
・予定価格が昨年度より、わずかに上昇しているがどういうことか。	・仕様内容は毎年度業務内容を精査している。そのため毎年度増減がある。
・昨年度より今年度の予定価格はわずかに上昇しているだけだが、契約金額は大きく上昇している。年度によって多少の差額は発生すると思われるが、契約金額の状況を説明してほしい。	

② 一者応札の点検・見直しについて

○ コピー用紙

質問・意見	回答
・再度公告を行っているが、その際に一者しか仕様書を取りに来なかった要因はどのようなことと推測されるか。	・初めの公告期間中に震災が起こってしまったため、再度公告をしても対応できる業者が少なかったためであると考えている。
・再度入札の際の予定価格はどのように積算したのか。	・再度公告の際に提出してもらって参考見積書により予定価格を設定した。
・1回目と2回目の両方の入札の状況を確認したい。両方の予定価格の差額の妥当性について、説明できるようにしてほしい。	